

ひゃくじゅ



平成28年文化祭作品

広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

～～～ 経営理念 ～～～

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。加齢による心身の衰えは何人も避けることのできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。

少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い家庭復帰と自立ができるよう最善の努力をしております。

医療法人社団 幸寿会
介護老人保健施設 大磯幸寿苑

Contents

☆表紙

広報誌「ひゃくじゅ」の由来、経営理念

☆大磯のイベント「大磯の左義長」

☆インフルエンザ予防接種について

☆感染警戒期間に入ります

☆職員紹介

・介護士 外山智之

・介護士 副主任 井上真季

・通所リハビリテーション 主任 西山和枝

☆屋内消火栓及び消火器取扱訓練参加

☆エッセイ 金子 靖

☆長寿百歳表彰

☆イベント報告

☆アクセス



9/12~18 通所リハビリ感謝週間



9/17 敬老の日 演劇



9/27~10/11 運動会



10/29~11/11 文化祭

【大磯のイベント】

大磯の左義長

大磯の左義長は、南下町の坂下・浜町・大泊・子の神、北下町の中宿・浅間町・大北・山王・長者の計9地区で行われる小正月の火祭りである。

〈一番息子と目一つ小僧〉

町内によって前年の12月8日に一番息子という行事が行われます。セエノカミサンの祠に置かれているゴロ石に縄をつけ、子供たちが家々を巡り、「〇〇さんにいいお嫁さんが来ますように、いちばんむすこ」などと家人に頼まれた願い事を唱えながら玄関先で石を打ちつけます。

〈七所（ななとこ）参り〉

お祭り前の3日間、地元の人たちはセエノカミサンにお参りして歩きます。地域に八ヶ所ある道祖神のうち七ヶ所参ることを七所参りと言います。今日では七ヶ所から一つ増えて「七所参って八所（ヤアトコ）せ」などとはやす事もあります。あげられた賽銭は子供たちの小遣いとなります。

〈セエトバレエ〉

祭り当日、町内各所のオンベ竹やお仮屋などを片付け、集められたお飾りや縁起物を浜辺に運んで九つの大きな円錐型のサイトが作られ、日が暮れると九つのサイトにセエノカミサンの宮元や宮世話人が、その年の患方に火をつけます。この火で団子を焼いて食べると風邪をひかない、燃やした書き初めが高く舞い上がると腕が上がる、松の燃えさしを持ち帰って屋根に載せておくと火災除けのまじないになるともいいます。

〈ヤンナゴッコ〉

セエトの火が燃え盛るころ、禪姿の若い衆が木ゾリの台に載せたセエ



ノカミサンの仮宮を壊して海に引き入れ、さらに浜方と陸（おか）方に分かれて豊漁を祈願する綱を引き合う、ヤンナゴッコという珍しい行事も行われます。

〈インフルエンザの予防接種について〉

インフルエンザの流行は、例年12月頃からはじまり1月から3月にピークを迎えます。接種後の効果が発揮されるまで2週間かかることを考慮して、職員は10月下旬より、ご利用者は11月初旬より予防接種をいたしました。



〈感染警戒期間に入ります〉

ノロ・インフルエンザ・疥癬・その他の感染症に注意してください。感染症対策はご利用者、職員とそれぞれの家族を含め注意を払うことが重要です。

職員はこう対応しています。

- 1. 発熱** 37.5度を超える発熱があった場合は出勤停止が基本です。
病院で受診したら、医師に感染症で無いことを確認します。
出勤の可・不可は、看護部を通じて施設長判断としています。
以下の症状も同様です。
- 2. 下痢・嘔吐** 下痢があったらまず感染を疑い、体調を上司に報告します。下痢と嘔吐が一緒にあれば出勤を控え苑に報告し病院で受診します。
ノロウイルスが検査で発見されるまでには時間が少し必要です。
苑では看護部から医師に報告して、出勤の可・不可を決定します。
- 3. 発疹** 痒みの強い発疹が出たら、疥癬も念頭に置いて対応しています。
しっかり洗浄して早めに皮膚科に受診します。疥癬は掻いた指先から感染し、すぐに診断がつかない事が多くあります。
基本的な事ですがしっかり手洗いをしてください。
一人で判断せず看護部に相談し受診して放置しないようにしています。

入所の受入れ等

感染症を念頭に置き入所対応をしています。相談部、看護部、介護部共同の観察と聞き取り力で、未然に感染者の入所予防と、感染の拡大防止に努めています。

介護士 外山智之

雨二モマケズ、風二モマケズ秦野から自転車で出勤しています。体力には少し自信があるかもしれませんが、これからも利用者様の笑顔の為に日々、精進していきたいと思います。



介護士 副主任 井上真季

実習生としてお世話になり、早11年。毎日ご利用者の方々と富士山を見るのが大好きです。この瞬間の笑顔や心地よい時間、「今」を大切に寄り添ってあげたいと思います。



通所リハビリテーション 主任 西山和枝

通所リハビリテーションに入り5年目になります。今年から主任を任されていますが、まだまだ頼りなく周りのスタッフに助けられながら日々業務に取り組んでいます。通所リハビリテーションのいい所は、ズバリ!! 明るさと元気さです。

毎日賑やかに行っていきますので是非、のぞいてみてください。これからもオリジナルの通所リハビリを作っていきます。

幸寿苑の中をウロチョロとしていますので気軽に声を掛けてくれるとうれしいです。



〈屋内消火栓及び消火器取扱訓練参加〉

11月10日、屋内消火栓や消火器の構造や取り扱い方を学び、正しく理解し操作方法を身につけること



で、有事の際に迅速かつ的確に初期消火が行われることを目的とした実施訓練が行われました。

また地震を疑似体験できる振動装置を搭載した

自動車で大規模地震の揺れを体験しました。

エッセイ

施設長（医師）金子 靖

中庸

「中庸」私はこの言葉が好きであるが、その意味は「かたよること無く、常に変わらない事、言い換えると過不足がなく調和がとれている事」と有る。



この言葉は中国の孔子の説く「論語」や日本の貝原益軒の「養生訓」などに出てくる言葉であるが、私は何事も「ほどほどを以て生活せよ」と理解しているので有る。

健康管理上問題となる中庸は、タバコは吸わないのが理想で有るが、多くても一日10本程度迄、酒はアルコールに換算して30ミリリットル以下、栄養素では特に塩分の摂りすぎに注意、運動量は歩数に換算して5000歩程度と考えている。個人個人により幾分差が有ると思うが、各自が自分にとってはどのあたりが長い間人生を楽しむ為の「ほどほど」で有るかを一度確かめて見てはと思う所である。

〈長寿百歳表彰〉 9月18日（日）

今年度、当苑ご利用者苅部滋子様と細谷輝子様の百歳長寿表彰が行われ、内閣総理大臣安倍晋三より表彰状と金杯が中崎大磯町長より手渡され、上記2名と101歳になられた細谷栄治様が大磯町より金一封が贈られました。



苅部滋子様



細谷輝子様、細谷栄治様

【イベント報告】

〈夏祭り〉8月6日(土)

真夏のイベント「大磯幸寿苑夏祭り」が開催。会場では多数の屋台が並び、お祭り気分も一気に盛り上がります。始めは、浴衣姿の大磯レクリエーション協会の方々のご利用者、ご家族、



職員による盆踊り。この後、中崎大磯町長が駆けつけお祝いの言葉をいただきました。続いて、長者町囃子保存会による

和太鼓の演奏、職員によるソーラン節と会場のボルテージも最高潮に達し、フィナーレは打上花火に沢山の歓声があがり終了となりました。



〈通所リハビリ納涼祭〉

8/15(月)~19(金)の午後1時30分よりご利用者と職員でお神輿を担ぎ盆踊りを踊り、月・水・木曜日は職員によるソーラン節の披露、また曜日別に、宝釣りやストラックアウト、カメ釣りゲームを楽しみ、屋台で販売を体験し買ったお菓子やカキ氷を頂き親睦を深めました。



〈通所リハビリ感謝週間〉9月12日~16日

- 12日(月) フラダンス
- 13日(火) マジシャンズ
- 14日(水) マドリッ・フルト・ギターのアソソブル
- 15日(木) 新日本舞踊
- 16日(金) 大正琴

日頃の感謝をこめボランティアによる演奏、歌、マジックショー、ダンス等を楽しんで頂き、ご利用者同士の親睦



を深めて頂きました。



〈敬老会〉9月17日(土)

毎年職員により上演している演劇、午前・午後と2回行いました。演劇では「可笑しな桃太郎」の熱演に大喝采をいただきました。



〈文化祭〉10/29~11/11

ご利用者とスタッフが共同して仕上げた作品がギャラリーに展示されています。



アクセス



介護老人保健施設 大磯幸寿会

〒255-000 神奈川県中郡大磯町西小磯 2466 番地

TEL 0463-60-3525 FAX 0463-60-3526

ホムページ <http://www.koujukai.com/oiso/>